

夏場に多い交通事故

休けいを十分とつて 運転しよう!

ギリギリと照りつける太陽のもと、海へ山へと涼を求める車の列、休暇を利用しての帰省、暮参りなど……車を運転する機会が多くなる季節がやってきました。車の増加につれ、交通事故の発生がうなぎのぼりとなるのも例年のことですから、その原因には、交通量の増大とともに、運転者や歩行者の身体的・精神的疲労が大きな比重を占めているのが実状です。特に暑がましてくるとエネルギーの消費が激しくなるうえ、夜間は寝がたいなど、十分な休養がとれなくなり疲労が体内にたまり、ボンヤリしたりし



ちょっとした不注意が……

ます。このため運転者はあまりな追越しのムリな右左折をする回数が多くなり、ここから事故に結びついているのです。この夏は、「事故はお互いの注

意で防げるのだ」という気持ちで特に次の点を守って下さい。◎過労運転にならないよう気を付けること。▽足がだるい▽足が重い。ときは身の疲労

▽頭がぼせる▽ボンヤリする▽目がチラチラするときは神経感

覚の疲労
▽アキが出る▽体がもじもじするときは運転疲労の第一歩ですこれらの状態を続けたら○視力が

裏える○反応時間が長くなる○判断力がぶる○動作がおそくなるなどの障害があらわれ、居眠り運転→交通事故→死亡ということになりかねないのです。

運転する時は、次のようなドライバールの基本を守って下さい。○疲れないうちに休憩をとる。○疲れたと思ったら、すぐ運転を中止して休む。○疲れているときは運転しない。

保健衛生だより

※母親学級

7月30日 黒埼町公民館

対象 7月初めてミルクの支給を受ける妊婦(但し、その他で受講したい人は、この限りでない)

携行品 母子手帳、筆記用具
主食(ご飯かパン) 副食はこちらで用意します。

受講料 二〇〇円

内容 安産のために、妊娠中の衛生、妊娠中の歯牙衛生、妊

「文芸壇」みちのくの旅(民具同好会)

致道博物館(鶴岡)にて(名匠高橋兼吉)

文化財洋風建築二つとも五重の塔(普賢寺)も名棟梁建つ化石せるナウマン象の臼歯やら縄文土器に太古を偲ぶ

本間美術館(酒田)にて(水画水運の花)

築山を囲む老松影落す池の水画水運の花(竹久夢二展)

画家にして詩人の夢二酒田をば第二の故郷と思へる如し

白糸の滝(草薙温泉)かき稲荷杜白糸の瀧

最上川岸の岩山若葉して朱き稲荷杜白糸の瀧

排聖も奥の細道塚前の苦しみを受くバス旅行の幸

千仰の鳴子の淡谷は若葉して福神岩の迎(若人)岩魚釣る

平泉にて 高館を望みて思ふ頼朝や家康に見る覇者の無情を

みちのくの藤原文化の遺宝をば三千余収蔵む誠術蔵いみじ

松島にて 五大堂背景にして調和する瑞巖寺への雲水の群

松島の松は女人の黒髪と詩人は詠ふ麗しきかな

仙台にて 政宗や晩翠の郷里孫文と藤村ゆかりの学都仙台

青葉繁る城跡広く榊手も要害固き奥羽の主城

山寺にて 排聖の銅像拝し思ふかな和敬清寂句にも通ずと

霧濃くて蔵王のお釜は見られずも若葉の白樺えぞ松つつじ

家の掟(岩船下関彦彦郎)

分度訓書き運ねたる結びには仁慈を説けり大禮と栄ゆ(五〇・六・一〇一十二日)

直樹地録

娠中(起りやすい異常と分娩

の経過、産褥の経過と生活及び起りやすい異常、新生児の

保育

八月の行事

※乳児検診

8月6日 黒埼町公民館

受付時間 午後1時~1時20分
対象 49年10月生れの者と50年5月生れの者

※母親学級

8月29日 黒埼町公民館

受付時間 午後1時~1時20分
対象 47年7月1日から8月31日までに生れた者

立仏分館が初優勝

—町民大運動会—

晴天にめぐまれた六月十五日、黒埼町公民館主催による分館対抗の町民大運動会が開催され、十六分館が参加して熱戦が展開された。プログラム順に、小豆ひろいりレーからスタート。

特に学童リレー(男、女)を親達が熱心に応援していた

成績は次のとおり

- 第一位 立仏分館
- 第二位 大野分館
- 第三位 善久分館
- 第四位 山田分館
- 第五位 木場分館



男子140才リレー